



## ジョイント・ディグリープログラムが始動しました



### ジョイント・ディグリープログラム(国際連携専攻)とは

本学と海外協定大学がそれぞれの強みを活かしたカリキュラムのもとに、共同で作成する教育プログラムです。学生は本学と海外協定大学の両方に在籍して修学し、標準修業年限の中で一定期間を相手大学で学びます。留学を伴う国際的な教育環境の中で講義履修および研究活動を行い、在学期間を延長することなく日本と海外

における2大学の連名で、単一の学位を取得することができます。本学は、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、平成31年度に海外協定大学のインド工科大学グワハティ校 (IITG) およびマレーシア国民大学 (UKM) とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻を開設しました。

#### ジョイント・ディグリー プログラムに関わる活動

- 4月1日  
ジョイント・ディグリー (JD) プログラム  
開始
- 5月16日～19日  
本学鈴木理事一行がIITG訪問
- 6月14日～6月27日  
IITG教授による講演会開催
- 7月9日  
JDプログラム第1期生が学長表敬
- 7月16日  
JDプログラム第1期生がIITGへ出発
- 10月7日、8日(予定)  
岐阜JD国際シンポジウム2019開催
- 12月(予定)  
ウィンタースクール開講
- 2020年3月(予定)  
スプリングプログラム開講

#### 第1期生の声

#### 丸山 春花

自然科学技術研究科  
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校  
国際連携食品科学技術専攻



想像通り、文化や言語、授業の進め方など日本とは異なる点が多く、時には色々な問題も起こりますが、親切で友好的な友達に助けられ、楽しく生活しています。また自然豊かなキャンパスには研究施設だけでなくスポーツ施設やフードコートなども充実していて、学業の息抜きに友達と有意義な時間を過ごしています。この貴重な機会に、異なる言語や価値観を持つ沢山の人と交流することで、良い刺激を得られる留学生活にしようと思います。



海外留学フェア

4月17日

留学に必要な語学力や、本学における留学プログラムに関する情報提供及び留学の促進を目的に、海外留学フェアを開催しました。留学した学生からは、体験談や語学力の向上等の成果が語られました。



海外渡航時の危機管理  
オリエンテーション

6月5日

留学や海外研修を予定している学生等を対象に、事件や事故に巻き込まれないための意識啓発や健康管理等、幅広い危機管理意識の醸成を目的に、本オリエンテーションを開催しました。



English Circle of Friends

海外経験豊富な本学教員がコーディネーターとなり、気軽に英会話を楽しめる場を学生や留学生、教職員に提供しています。留学生チューターと身近な話題や洋楽をテーマに、時には岐阜県国際交流員の方々等と交流しながら、実践的な英語力が身に付けられます。



アルバータ大学

ESLプログラム 8月12日～8月30日  
ESTプログラム 8月12日～9月20日



ESLを通して得たもの  
鈴木 千少 応用生物科学部

価値観を広げること、経験を積むこと、英語を話す環境で過ごすことを目的にESLプログラムに参加しました。現地の人々と同様の生活を送り、異文化理解の授業を受講し、更にボランティア活動という体験も、幅広い人脈を築くことができました。共に参加した仲間や現地の人々との出会い、刺激を受けることで自分は更に成長できるのだと実感しました。留学をサポートしてくださった岐阜大学、アルバータ大学の職員の皆さん、応援してくれた家族、友人達に感謝しています。



グリフィス大学

ESLプログラム 8月11日～9月7日



英会話力の必要性  
岩村 恵吾 教育学部

グリフィス大学での学習やホストファミリーとの生活を通じて、「英会話力(話す聞く)」の必要性を強く感じました。他国学生と比較し、日本の学生は英会話力が劣っていると実感しましたが、英語圏での生活は英会話力の向上に大変有効でした。両親をはじめ、留学を支えてくださった人々に感謝し、今後も更に英語学習を進めていきたいです。少しでも留学に興味がある人には、短期間でも留学することをお勧めします。



事務職員海外研修

事務系職員海外実務研修  
アルバータ大学

8月12日～8月30日

今井 彩乃 工学部事務部



日常生活や職場での実用的な英語を学ぶ語学研修と、アルバータ大学事務の仕事を経験する職務研修を行いました。本研修では英語力と共に、文化や教育に関する知識力、自分の意見を伝える力が求められたため、更なる自己研鑽が必要であると感じました。また、多様な価値観を尊重するカナダの文化に触れ、異文化に接する際の姿勢を見つめ直すことができました。国際的視点を養うことができる本研修は、今後も発展していくべきであると考えます。



Staff Development研修  
ニューサウスウェールズ大学

8月19日～8月30日

広田 彩伽 財務部経理課



全国の国立大学の事務職員6名と共に、ニューサウスウェールズ大学においてStaff Development研修に参加しました。大学で勤務する際に必要となる英語の授業や現地職員の業務説明を受講し、そして最終日には研修成果のプレゼンテーションを行いました。ニューサウスウェールズ大学では、教員が現在取り組んでいる研究や授業を発表する教職員向けの行事があり、部局を超えた意見交換の場となっていたことが印象に残っています。



グローバル推進機構日本語・日本文化教育センター主催

岐阜大学への留学

郡上踊りワークショップ

5月15日

郷土芸能の一つであり国の重要無形民俗文化財に指定されている「郡上踊り」を学ぶワークショップを開催しました。学生たちは美濃市の国際交流支援グループ「せびあ会」の方々に浴衣を着付けてもらい、郡上市から来学した講師の方から「かわさき」と「春駒」の2曲の踊りを習いました。



能楽(能・狂言)ワークショップ

7月10日

本センター内の80畳を超える和室にて、観世流シテ方と大蔵流狂言方からそれぞれ2人の講師を招き、能と狂言の鑑賞と体験、留学生モデルへの能装束の着付けを行いました。参加者は、能独特の足の運びや、声高らかに笑う狂言の声の出し方等を体験し、日本の伝統芸能への理解をより一層深めました。



日本語・日本文化研修  
留学生の修了論文発表会

8月4日

ウクライナ、タイ、中国から本学に留学している6人の日本語・日本文化研修留学生(日研生)による修了論文発表会を開催しました。日研生たちは、現代日本社会、日本語の特徴、日本と自国の比較等、各自が設定したテーマについて、パワーポイントを使用しながら発表しました。聴衆からの質問にも誠実に答え、日頃の学習や研究の成果を十分発揮しました。



サマースクール

6月26日～7月24日

ノーザンケンタッキー大学(米国)、木浦大学(韓国)、広西大学(中国)、電子科技大学(中国)、マレーシア国民大学から計10名の学生が参加しました。学生らは日本語授業、バードウォッチング、日本語俳句体験、岐阜大学病院見学と本学看護学科学学生との医療英語ワークショップ、関刃物ミュージアムでの刀鍛冶見学、着物体験、能楽(能・狂言)ワークショップ、郡上ホームステイ、岐阜大学農場見学とソフトクリーム作り等を体験しました。



叶った夢

連合獣医学研究科  
シヤマエブ ニコライ



かねてから日本という国をこの目で確かめ、生活の息づかいを感じたいと思っていました。そして夢がかない、好きな研究に打ち込み、人間的にも成長しています。日本で出会うすべては美しく、今こうして自分がここにいることがどれほど幸運かに感謝しています。

ミツバチが巣を守るために休む間も惜しんで働くように、日本の人々は公共の利益を重んじ、国の福祉と発展のために働くことに驚きました。

私はまだ日本語が上手ではありませんが、語学力を高められる友人ができました。様々な国から来ている意欲溢れる心優しい友人たちのお陰で、勉学も日本での生活も大変充実しています。



3年間、ありがとう  
ございました

自然科学技術研究科  
カン ソヨン



私が留学を決めたのは、一度も海外に出たことがなかったからです。このような軽い理由で交換留学を始め、今は大学院卒業が目前です。人生、何が起こるか分からないと言いますが、まさに自分を言い得た言葉だと思います。

あと半年で大学を離れますが、この大学での思い出を懐かしむ前に、岐阜大学と、岐阜大学で出会った全ての方に感謝の気持ちを伝えたいです。大学での研究や生活、就活など、皆さんのお陰で充実したものと、また、日本の社会に深く溶け込むことができました。この国で生活を続けていくことに自信も付き、来年からは立派な社会人です。

3年間、本当にお世話になりました。ありがとうございます。





# グローバル推進機構(GU-GLOCAL)発足



岐阜大学  
グローバル推進機構

岐阜大学グローバル推進機構(GU-GLOCAL)は、地域に根ざした国際化と成果の地域還元を行うことを目的に、平成31年4月1日にグローバル推進本部を改組して設置されました。

本機構内に「日本語・日本文化教育センター」と、「国際協働教育推進部門」、「地域国際化推進部門」、「留学推進部門」、「国際企画部門」の4部門を設置し、ジョイント・ディグリーを中心とした国際協働教育の推進等を行っています。また、本学学生の海外留学支援及び本学で学ぶ外国人留学生の修学・生活支援等、様々な活動を通して、キャンパスの国際化を推進しています。



## 医学部

### 南フロリダ大学より 31名の学生が訪問



5月21日～23日

本学医学部及び保健管理センターとの部局間学術交流協定校である南フロリダ大学(米国)より、公衆衛生学科学生11名、オナーズカレッジ学生20名、同行教員4名が、昨年度に引き続き来訪しました。

一行は、看護学科学生83名とのウェルカムランチパーティーや「医療英語」講義に参加した他、山本保健管理センター長による講義「日本の国民健康保険制度」、医学部附属病院見学、看護教員による高齢者体験、郡上市立八幡小学校での学校給食や校内清掃体験、そして医学科学生との長良川鯉飼見学と充実した時間を過ごしました。



## 工学部

### リトアニア勉強会



5月15日、6月12日  
7月10日、7月31日

第二次世界大戦中に「命のビザ」で多くのユダヤ人を救った岐阜県出身の外交官、杉原千畝が勤務したリトアニアを知ることが目的に、「リトアニア勉強会」を4回にわたり工学部にて開催しました。

第1回では、リトアニア出身の夫妻であるアルヴィーガス・クンプス氏(工学部の外国人研究者及びリトアニアの杉原記念館プロジェクトマネージャー)とシモナ・ヴァシレブスキー氏(岐阜県国際交流員)の両氏を招き、クイズ形式を交えて気候や言語、食文化、自然豊かな環境等を紹介しました。



## 教育学部

### ノーザンケンタッキー 大学短期留学



8月23日～9月13日

教育学部では、英語力の向上とアメリカ文化の理解を目的とした3週間の短期留学プログラム「総合文化海外実習」を実施しています。同大学とは1990年から大学間学術交流協定を締結しており、毎年相互に複数の交換留学生在学しています。今年度は12名の学生が本海外実習に参加し、英語研修や週末のホームステイ、地元企業の訪問、現地の小中高等学校及び日本人学校での日本文化紹介実習等を体験しました。

